

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789 「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

まんすりー 全旅連情報

発行日：平成25年2月1日

定 価：150円

発行人：清澤正人

印 刷：山陽印刷株式会社

第4回全旅連正副会長会議開催	1	金融対策小委員会レポート	4
全旅連地熱発電検討委員会 現地視察（事業委員会） 環境推進小委員会	2	全旅連青年部広報室／HOTERES JAPAN～第41回	5
自由民主党観光産業振興議員連盟総会開催／全旅連	3	国際ホテル・レストラン・ショー～開催	
総務委員会と全旅連協定商社会との懇談会開催／ 第2回宿泊業の税制に関する勉強会開催		都道府県組合等の情報	6
		全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
		全旅連協定商社会名簿	8

第4回全旅連正副会長会議開催

全旅連は12月12日、平成24年度第4回正副会長会議を全旅連会議室で開き、各種の報告事項と議事を審議した。また、冒頭、佐藤信幸会長は喫緊の大きな課題の一つとなっているNHK受信料問題について語り、その中で大手ホテルチェーンの組合加入に関しては、その対応方法などを今後委員会で検討してほしいと述べ、了承された。

■報告事項

◇選挙管理委員会報告＝次期全旅連会長選挙での締切日となった11月30日の候補者の届出は佐藤現会長1名で、審査の結果、受理。このあと、2月開催の理事会で信任投票が行われることになるが、同委員会は「全旅連会長の立候補・選挙に関する要綱」を変更したいとし、現行の「立候補者1名による信任投票の場合は、記名式での投票とする」を「無記名投票ができるものとする」に要綱を変更し、2月の理事会に上程していきたいとしており、了解された。

◇日本音楽著作権協会（JASRAC）からの使用料未払い組合員についての申し入れ＝現在、JASRACと全国の組合とは基本協定（団体割引＝2割引き＝と事務局への2%の協力金の支払い）を結んでいるが、業務協定には「事業者の許諾契約に基づく使用料の支払いの履行を指導し、不履行のあるときは、その履行を督促する」とされている。今回の申し入れは、同協会が各都道府県理事長名にて、未払いの組合員に対して通知を出すことでの要望。なお、滞納金額の詳細は個別情報のため、当組合には開示されない。

◇「ハローキティうちわ」による誘客キャンペーン＝本年度の実績をもって、平成25年度も夏に同事業を展開していくことになった。

◇平成24年度地熱発電と温泉地との共生に関する調査事業＝同事業は国からの補助金を受けてすでに委員会の開催や現地視察等をもって進められているが、最終的にはより広範な組合員等に的確な情報提供を行うため調査報告書（約200ページ、1000部発行予定）の作成に当たる。

◇増税に伴うクレジットカード手数料についての対策＝前回の正副会長会議で取り上げられた消費増税に伴うカード手数料に関連しての報告。全旅連C→REX事業におい



てはJTBとの提携によりVISA、Masterなど一部カードの決済手数料率が2.6%で、現在900軒の施設が契約している。「手数料の軽減」という点で、まずはC→REX契約施設の拡充を進めたいとした。

このほか、「まんすりー配布に関するアンケート」（各組合の必要部数等）、「ホテル・旅館の維持補修に関する調査」（905通を回収）、全国旅館ホテル事業協同組合の「アフラックの保険取り扱い経緯」（加入者数減により集団取扱特約の解除）、そして、「青年部の『旅館甲子園』（2月20日に東京国際展示場で行われ、『もてなしを極めた感動の日本一』を目指すもの）についての報告があった。

■議事

◇全国旅館政治連盟平成25年度活動方針（案）並びにパーティー券購入目標額＝取組内容に具体性を示すことのできる活動方針の場合は、表現により明確さを期すべきであるとされた。また、パーティー券については日観連・国観連の合併を受けての目標額（案）が示されたが、活動方針とともに保留とされた。

◇全国旅館会館の建て替え＝建て替えについては委員会を設けて進められているが、日本財産コンサルタントからの中間報告を受けた後、平成25年1月24日の全旅連常務理事会での審議を経て、2月21日の第2回理事会で全旅連としての方針を決定していく（耐震補強、建替え等が選択肢となる）。

◇全旅連協定商社の新規入会＝株式会社シーナツの協賛契約を承認。予約・販売管理システム「TL-リンカーン」が取扱商品。現在2400施設と契約（全旅連組合員も多く含まれている）。平成25年1月1日より入会。

第5回正副会長会議は2月13日に開催の予定。

地熱発電検討委員会 現地視察

全旅連地熱発電検討委員会（事業委員会環境推進小委員会/野澤委員長・山本小委員長）は、佐藤会長、大木会長代行、福島県組合の菅野理事長、日本温泉協会役員らと共に12月19日、福島県河沼郡柳津町にある東北電力の柳津西山（やないづにしやま）地熱発電所の現地視察を行い、東北電力の千葉一教所長、三浦徹副所長、奥会津地熱株式会社（奥会津地熱株式会社）の阿部泰行取締役から発電所のしくみについて説明を受け、施設を見学した。翌20日には、財団法人やないづ振興公社の杉原啓輔事務局次長と柳津温泉「澗流の宿かわち」の堀内久美女将から地熱発電開発の影響についてヒアリングした。



施設内で千葉所長から説明を受ける委員ら

柳津西山地熱発電所の特徴：①標高400mという立地に建設されているため、直線距離にして700mの位置に民家が存在し、騒音規制基準は第四種区域（昼間65dB、夜間55dB以下）に制定されている。そのため騒音・振動発生装置はなるべく防音壁を有する建屋の内部に設置し、騒音などの低減に努めている。②硫化水素濃度が他の地熱発電所より高いため、国内で初めて硫化水素除去装置を設置して異臭拡散防止に配慮している。③単独ユニットで日本最大の65,000kWの発電所としての許可を受けている施設のため年間1.3万人以上が視察に訪れる。その視察団を受け入れるPR館を地熱発電所として唯一所有している点もこの発電所の特徴である。



施設概要：平成3年に東北電力と奥会津地熱株式会社が共同開発を行い、平成7年より営業運転を開始している。約41万㎡の土地に、地下1,500～2,600mの深さから熱水を取り出すための生産井が21本、約90℃

の温水を地下1,500mに戻すための還元井が3本、気水分離基地が2箇所、希釈基地が2箇所、蒸気タービン（3千回転/分）と発電機が1台、冷却塔が1基のほか原水タンク、スケールセパレータなどが設置されている。遠方監視により緊急のトラブル時には遠隔地でも自動停止が可能となっている。



発電所の蒸気生産設備を見学

現状：蒸気量と発電量に関しては、共に減衰傾向にあり、運転開始時には14本であった生産井は7年間で7本が増設されている。今後も蒸気量の減衰によっては生産井を増設する予定である。発電量については、現在の実際発電量は約21,000kWであり、許可出力に対して1/3以下となっているのが現状である。

還元水に関しては、冷却排水による希釈のみで、化学物質（硫酸など）を混ぜなくても圧力をかけず自然に地下に還元することが可能となっている。冷却排水による希釈がスケール（湯垢、熱水に含まれる不純物）の付きにくさにつながっている。

地元住民と開発業者の間には、泉温、泉質、温泉量などに関して変化が生じた場合、奥会津地熱株式会社を中心となり、迅速な対応がなされるシステムが構築されている。その他にも、湯量や泉温について月2回の調査が行われ、これらのモニタリング調査結果を年1回、周辺住民に説明している。



「澗流の宿かわち」にてヒアリング

同委員会では、1月30日、鹿児島県霧島市にある九州電力の大霧地熱発電所の現地視察を行い、3月中に報告書を作成する予定。

自由民主党観光産業振興議員連盟総会開催

自民党観光産業振興議員連盟（会長・細田博之衆議院議員、幹事長・望月義夫衆議院議員、事務局長・高階恵美子参議院議員）は1月17日、自由民主党本部で総会を開き、主に宿泊団体からの短中期的な要望をヒアリングし2013年の活動留意点などを確認した。総会には昨年総選挙で初当選した新人議員も含め国会議員30人のほか、宿泊団体から全旅連の佐藤信幸会長、日本ホテル協会の大橋寛治会長らが出席した。

昨年、同議連の事務局長に就任した高階事務局長が同議連の現有について、「新人49人を含め117人」と報告したのにつき、宿泊団体からヒアリングを行った。

短時間のなか、佐藤全旅連会長は税制改正とNHK受信料契約の改善を中心に要望。すでに決定しているホテル・旅館の建物に関わる固定資産税評価の2015年度の評価替えについての一層の支援や、旅館業界として税制改正要望にあげている消費税が見直される場合の総額表示から外税表示への変更、交際費の非課税化などを求めた。

また、NHK受信料についてはテレビ15台までを1契

約、その後5台ごとに1契約を追加する英国BBC方式の採用を求めた。

出席議員からは交際費について、「他の業種からも同様の要望がある。経済の低迷期に課税はおかしい。資本金1億円以上の大企業も含めしっかり対応したい」、「観光は相対事業。交際費は必要であり、非課税でもいい」。また、NHK受信料についても、「国が観光立国推進を掲げ、観光を伸ばそうとしているときに、NHKがそれに協力できないのはおかしい」などと改善を求める意見があがった。



自由民主党本部にて開催された観議連総会の様子

全旅連総務委員会と全旅連協定商社会との懇談会開催

12月4日、全旅連総務委員会（宮村耕資委員長）は全旅連協定商社会との懇談会を開催した。

懇談会では、本誌「まんすりー全旅連情報」の増刷に伴う変更点の説明と、より多くの組合員が本誌を目にすることになるため、広告掲載、協定商社会名簿掲載（本誌裏表紙）といった協定商社の特典をより一層有効活用して欲しいと話があった。

加えて、6月12日に山梨県甲府市で開催される第91回全旅連全国大会の案内、全旅連青年部が2月20日に東京ビッグサイト（東京国際展示場）にて開催する「第1回旅館甲子園」について案内があった。

懇談会には、宮村委員長以外に、萩原財務小委員長、佐久間財務委員、永山広報小委員長、伊藤広報委員、新山青年部財務副部長が出席した。



挨拶する宮村委員長（中央）と総務委員会のメンバー

第2回宿泊業の税制に関する勉強会開催

宿泊業4団体（全旅連、一般社団法人日本ホテル協会、一般社団法人日本旅館協会、一般社団法人全日本シティホテル連盟）は、1月10日、全旅連役員室において旅館・ホテルの固定資産評価の見直しに向けての勉強会を開催した。勉強会には各団体の税制担当役員（全旅連からは工藤政策委員長が出席）のほか、国際観光施設協会中山会長をはじめ、建物税務評価コンサルティングの小川税理士、不動産鑑定士の岩崎氏、臼杵氏などの専門家が参加、昨年実施した「ホテル・旅館の維持補修・更新に関する調査」の報告書をもとに検討した。この結果をもとに平成27年度の評価替えに向け、総務省との最終的な詰め作業に入ることになる。



勉強会の様子

「旅館・ホテルの事業再生事例」(1回目)

○現実を知る

1995年。家業であるホテルが大きな負債を抱えていることは分かっていましたが、自分ならなんとかできるのではないかという根拠のない自信から大学院を辞めて実家に帰りました。

その思い込みが打ち砕かれたのは、当時(2003年頃)会長だった小原健史理事長(佐賀県旅館ホテル生活衛生同業組合)がご自身の経験から設置した経営再生等支援事業の担当弁護士に相談したときでした。

そのときの弁護士は弊社の財務諸表を一瞥すると、ボソッと言いました。その言葉は一生忘れません。

「このままでは破綻ですね。」

この一言が再生のスタートでした。30歳前半でボンボンだった私が厳しい経営の世界に放り出された瞬間です。

バブル時になされた設備投資は、区分所有の建物を建て、各部屋を分譲し、その部屋を再リースすることでホテル営業をするというものでした。非常にユニークな計画でしたが、分譲が計画通りに進まず、多額の負債を抱えてしまっていたのです。

このような事情から、かなり複雑な権利関係が存在していましたので、とても自分たちの力だけでは解決できないことは明白でした。そこで、パートナーとして再生に携わってくれる専門家を探すことにしました。

いくつかの会計事務所やコンサルタントに打診をしましたが、1千万円を超える多額の費用がかかることがわかりました。地獄の沙汰も金次第。費用捻出のために償却前の営業利益を生み出してキャッシュを積み上げなければなりません。このとき身に染みてその重要性を感じました。

呆然としているうちに、あるきっかけから旅館の経営問題を得意とする渡辺コンサルタントを小原理事長のご尽力でご紹介いただき、費用も良心的なものでしたのですぐをお願いすることにしました。

その後、渡辺コンサルタントから、地元長野県で活躍している税理士をアドバイザーとしてご紹介していただき、また、その税理士から再生の得意な弁護士も紹介していただきました。どの先生も経験豊富でハートがあり最強のチームを得て事業再生をスタートすることができました。

○再生方針を決める

まず、渡辺コンサルタントのご指導で「事業の継続と雇

用の確保」という方針のもと、個人財産や経営権に執着しないでとにかく事業を継続することに焦点を絞りました。

もうひとつ、この再生事業は全て自分の責任でやるという決意をしました。最終的な責任者は社長である叔父や父でしたが、強引にでも自分がリーダーシップをとりました。30歳そこそこで経験不足でしたが、たとえ事業再生に失敗しても絶対に後悔したくなかったからです。社長である叔父さんや父は100%私の判断に任せてくれました。このようなことはなかなか出来ないことだと感謝しています。

○取引銀行へアプローチする

取引銀行には、私たち経営陣にしっかりとしたけじめをつける意志があること、事業継続のやる気があることの2点を伝えました。

問題は、支店と交渉するだけでは本部へ自分たちの意思が伝わらず、相手の考え方がまったくわからなかったことです。最大債権者の銀行の意向がわからなければ方針をたてようがありません。

幸いなことに、渡辺コンサルタント、税理士ともに本部とのつながりがあり、非常にスムーズに交渉を進めることができました。自分たちの意志を伝え、銀行側の意向をくみつつ、事業継続のできる方向で交渉を進めていただきました。これは銀行との信頼関係がなければ不可能なことです。再生アドバイザーを選ぶ場合の大切な要素として取引銀行との人脈があるかどうかは重要な要素になるのではないのでしょうか。

一方、再生過程における自分たちの態度や行動が、これから再生するであろう他の旅館への見方に大きく影響します。次に再生にチャレンジする旅館のためにも絶対に無責任な態度は取れません。

同じ県内で、銀行側の意向を無視して再生を凶ろうとした旅館が、債権者の申し立てによる破産を宣告されたということがありました。一方的に言いなりになる必要はありませんが、やはり将来にわたって事業を継続しようとするならば、自分たちの主張だけをおしつけるやり方は成り立たないのは明らかです。

後で聞くとところによると、銀行内部でも私たちの事業継続のために奮闘してくれた担当者がいらっしやっただけのことでした。本当に感謝しています。いつか恩返しをしたいと思っています。

※次回(3月号)は、2007年に自主再生から民事再生に切り替えた際の出来事などを掲載します。



2月20日第1回旅館甲子園開催

横山青年部長が胸に秘め温めてきた思い、「旅館で働くスタッフが『夢』を抱き、生き生きと活躍できる業界にしたい!」。ついにその思いが一つの形となって実現する。従来の旅館評価基準やランキングとは異なり、直接的な集客目的ではなく【経営に対するビジョン】【若手経営者の志】また普段あまり表に出る事の少ない【現場スタッフの輝き】そしてそれらの取り組みが自館の利益だけでなく、【地域活性】につながっているか、に焦点を当て評価を競い合う大会、第1回旅館甲子園が今月20日東京ビッグサイトで行われる国際ホテルレストランショーにおいて開催される。今期体制初めより荻野委員長率いるドリーム旅館プロジェクト委員会が、初めての試みを一つ一つ協議を重ね、夢を語り、形にしてみました。感動に包まれること間違いなしの夢のステージ、是非ともお越しください。

- 日時:平成25年2月20日(水) 13:00 ~ 17:00
- 場所:東京ビッグサイト 会議棟1階 レセプションホール



応募数21施設より厳正なる審査の結果 ファイナリストが決まりました

- ◆ 越後湯沢HATAGO井仙 (新潟県)
- ◆ 鬼怒川温泉ホテル (栃木県)
- ◆ 竹と茶香の宿 旅館樋口 (島根県)
- ◆ 流凰別邸 観山聴月 (宮城県)
- ◆ 和歌の浦温泉 萬波 (和歌山県)



旅館甲子園サポーターまだまだ大募集

旅館甲子園事務局では1口5000円より皆様からのサポーターを大募集しております。業界をとにかく元気にさせます。この大会の趣旨を是非ともくんでいただき皆様からの温かいご支援を心よりお待ちしております。

▶ 詳細は全旅連青年部事務局井上まで

HOTERES JAPAN ~第41回国際ホテル・レストラン・ショー~ 開催!!

会期:2月19日(火)~2月22日(金)

会場:東京ビッグサイト(東京都江東区有明・東京国際展示場)東展示棟

東京ビッグサイトにて開催される旅館・ホテル業界向けの展示会『HOTERES JAPAN』が、本年2月19日(火)~22日(金)に開催されます。

旅館・ホテル向けに最新の厨房機器や、浴場設備、家具・インテリア、アメニティ、IT関連など各ブースにおいて最新トレンドの商品が多数展示され、旅館・ホテル業や飲食業の関係者が多数来場します。昨年は680社(1688小間)の出席

がありましたが、今年は更に規模が拡大する見込みです。

展示会には招待券・事前登録での入場、または当日入場(有料)となります。各県旅館組合および全旅連にて招待券をご用意していますので県旅館組合または全旅連(03-3263-4428)までお問合せください。

■飛騨高山旅館ホテル組合が100周年で一層の躍進誓う＝大正元年に「高山宿屋営業組合」として設立して以来100年目を迎えた高山市の飛騨高山旅館ホテル協同組合(住吉人理事長)は11月29日、記念式典とシンポジウムを同市のホテルで開き、次の100年に向けた一層の躍進を誓った。高山は、旧国鉄が1970年に始めたキャンペーン「ディスカバー・ジャパン」を契機に観光客が急増。その後国際観光モデル地区に指定されて現在年間観光客数は400万人超を数える。

式典では、住理事長は、今後も世界に向けた観光地づくりを進めていくことを表明するとともに、「会員施設の収容人員が現在も7,255人と高い収容力を維持している組合として地域に貢献することを考えながら、この100年を節目に、さらに新しい観光地づくりにまい進していきたい」と決意のほどを語った。

住理事長がコーディネーターを務めたシンポジウムでは、写真家の浅井慎平氏、国島芳明市長、堀泰則飛騨・高山コンベンション協会会長ら6人がパネリストとなり今後の飛騨・高山の観光と町づくりをテーマに意見が交わされたが、ホスピタリティや人材の育成、官民一体となった取組みなどの重要性が強調された。

■京丹後の「おかみさんの会」が建国1300年でジオパーク食材を生かした共通プランを企画＝世界ジオパークに加盟して2年目となった山陰海岸ジオパーク(京丹後市の経ヶ岬から鳥取県の白兔海岸までの東西110キロのエリア)の地形や景観の魅力を、特産の料理で発信しようと、京都府丹後市の宿泊施設のおかみたちでつくる「おかみさんの会」が、「丹後建国1300年!ジオパーク食材」と題して共通のメニューづくりに取り組み、11月30日に披露した。

おかみさんの会は、市内13軒の旅館や民宿、ホテルで構成する。

「ジオ五箇条」として提供する料理のルールは、①山陰海岸ジオパークで水揚げされたカニを使うべし ②丹後産の地魚の刺身を提供すべし ③お米は丹後産コシヒカリを使うべし ④朝食にコッペガニ(メスのズワイガニ)の一品を提供すべし ⑤カニと、カキまたはブリを使った2色鍋を提供すべし、の5項目。丹後を愛する女将たちが料理の説明だけでなく、ジオパークと地元の歴史について、宿泊客に心を込めて解説するサービスも行う。また、本年迎える「丹後建国1300年」も合わせてPRする。1泊2食の価格は宿泊施設で異なるが、2万3千円～3万5千円。3月末まで。

茨城県旅館組合女将の会が東京・銀座「茨城マルシェ」でPR

茨城県の魅力を首都圏に発信しようと、県産品を使った料理と土産の発表会が、12月12日東京・銀座の茨城県アンテナショップ「茨城マルシェ」で開かれ、茨城県ホテル旅館組合女将の会のメンバーらが、完成した創作料理24品と土産セット6品を紹介した。今後、料理の普及講習会を旅館・ホテル向けに開き、今年夏からの提供を目指す。

発表会は、茨城県中小企業団体中央会が主催し、「いばらき心つづる観光フェア in 茨城マルシェ」と銘打ち、関係者を招待して開かれた。

創作料理は、遠藤 十士夫宮内庁御用達萬屋調理師会長、鎌田 明男東京ドームホテル総料理長の両氏が監修。常陸牛、ローズポーク、レンコンなどの県産食材を生かした「常陸牛の花園煮」や「常陸牛スネ肉といろいろな野菜の冷製ポトフ」などが振る舞われた。

また、土産物は、デザイナー達も協力し「日本酒と笠間焼セット」や「奥久慈しゃも釜飯の素」などが紹介された。

料理監修の遠藤会長も「茨城県には、世界と比較しても、非常においしい食材があり、ぜひ観光客に味わってもらいたい」と述べた。



PRする茨城女将の会会員

全旅連会議開催

【1月】

9日(水)

●全旅連青年部常任理事会他

10日(木)

●第2回宿泊業の税制に関する勉強会
(宿泊4団体、厚生労働省、観光庁)

17日(木)

●自由民主党観光産業振興議員連盟総会
於:自由民主党本部(東京都千代田区)

24日(木)

●全旅連常務理事会

於:剛堂会館ビル(東京都千代田区)

●全旅連総務委員会第4回広報小委員会

●株式会社リクルートライフスタイルとの協議会
25日(金)

●楽天トラベル株式会社との協議会

30日(水)、31日(木)

●全旅連地熱発電検討委員会 現地視察
(事業委員会環境推進小委員会)

於:大霧地熱発電所(鹿児島県霧島市)

訃報

当連合会元会長稲葉安久様におかれましては、平成25年1月15日 午後9時10分にご逝去されました。享年89歳。

ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせいたします。

経営 ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「洞観力」

大切な2013年もあっという間に一月が過ぎました。国家にとっても個人にとっても危機と好機が背中合わせでチャンスだらけの様相ですが、新たな一歩(昨年までとは違う自分になるための一歩)を踏み出しましたか。こんな状況があと2~3年は続くと思いますが、じっとしていたら後悔間違いなし、光陰矢のごとしです。周りの出来事や物事に惑わされず確実に進みたいものです。そこで必要なことは何か、考えてみました。

第一に観察力を養うこと。(観→見る。みわたす。→観察→物事の状態や変化を客観的に注意深く見ること。)第二に洞察力を磨くこと。(洞→つらぬく。つき通す。→洞察→物事を観察して、その本質や、奥底にあるものを見抜くこと。見通すこと。)第三に洞観力をものにすること。(洞観→見抜くこと。見通すこと。また、推理や思考によらず、直観で本質を悟ること。)

訓練にはヒューマンウォッチング(人間観察)が最適です。待合せのスタバの外席なんかがお手軽です。物事や出来事を自分の五感でとらえ、その本質や裏側を見通し、悟ることができたら。マスコミや世相や他人に惑わされない自分になれるといいなと思いませんか。

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp

または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

全旅連協定商社紹介

眠りはさらに
「おもてなし」の中心へ

丸八真綿グループ

PRO

株式会社 マルハチプロ

本社 〒432-8508 静岡県浜松市南区小沢渡町1533

☎ 0120-4649-08【丸八グループお客様相談室】

AIUの全旅連会員さま向け火災保険は

AIU独自の割引
補償の見直し
により

経費削減

できる可能性があります。

お近くの弊社営業店にお問合せください。


AIU保険
Member of AIG

全旅連協定商社会名簿

システム・シャイン・サービス(株)	ジュース及び椅子のメンテナンス(シミ・汚れにSUPER 3S)	〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10 加藤 卓	TEL 03-5996-5407 FAX 03-5996-5435
(株)トランスネット	ROOMBANK事業他客室情報システム	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F ホテル旅館事業部 マネージャー 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒107-8585 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館7F マーケティング部法人営業課 荒井俊之	TEL 03-3475-8865 FAX 03-3475-8824
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒103-0027 東京都中央区日本橋3-5-19 広域法人開発部 課長補佐 内藤一彦	TEL 03-5202-6605 FAX 03-5202-6669
丸八真綿グループ(株)マルハチプロ	丸八真綿製品寝具製造・販売他	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-12 8階 営業部 辻 雄太	TEL 045-471-0818 FAX 045-475-0822
サントリーフーズ(株) 【サントリーコーポレートビジネス(株)】	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当)〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル 東部広域自販機開発部 部長代理 大沼 潔 (西日本担当)〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜 2-1-40 西部支社 法人営業1部部長 田中芳郎	TEL 03-3479-1528 FAX 03-3479-2104 TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
(株)リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 Grantウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 大野雅矢	TEL 03-6835-1926 FAX 03-6834-8629
(株)セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル 販売企画部 全旅連担当課長 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-5381-7832
(株)第一興商	カラオケ機器(DAM)販売、音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 エルター事業開発部 営業課 牧野 茂	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0962
大阪ガス(株)	ガスの製造、供給及び販売、ガス機器の販売	〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-1-2 エネルギー開発部 営業開発チーム 課長 藤原寛太	TEL 06-6205-4674 FAX 06-6202-2190
(株)コジマ	家電製品全般	〒320-0038 栃木県宇都宮市星が丘2-1-8 営業本部 法人営業担当 安西直人	TEL 028-621-0008 FAX 028-627-9310
(株)エクシング	カラオケ機器販売(JOYSOUND、UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 市場開拓ホテル推進グループ グループ長 峰山直治	TEL 03-6848-5008 FAX 03-6848-9925
(株)エスコ	水道・光熱費等エネルギーコスト削減コンサルティング	〒169-0074 東京都新宿区新宿2-21-2 新宿フロントタワー12F 本社営業本部 二課 係長 小野寺雄士	TEL 03-5332-3388 FAX 03-5332-3511
(株)まごのてライフサービス	空調機の高圧洗浄及びクリーニング	〒184-0013 東京都小金井市前原町5-1-14 北多摩建設会館1F 専務取締役 粟野和司	TEL 042-388-5123 FAX 042-316-1427
東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル12F 旅行業営業部 営業第一課 飯塚悠介	TEL 03-5299-3521 FAX 03-5299-3551
アースサポート(株)	廃棄物一元管理、食品リサイクル提案他	〒690-0025 島根県松江市八幡町882-2 総務・企画部 部長 西村圭介	TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892
AIU保険会社	集団扱い企業財産保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 大同生命ビル7F 山形支店 支店長 菅原 勲	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
キャンシステム(株)	音楽・映像放送事業、防犯カメラ事業等	〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-1 事業担当本部 企画部 次長 堀池元洋	TEL 03-5397-3333 FAX 03-5397-9446
楽天トラベル(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-9 楽天タワー2号館 国内営業部 吉崎弘記	TEL 050-5817-3366 FAX 03-6670-5237
(株)宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
(株)ユーコム	ホテル・旅館専用宿泊管理業務支援システム	〒105-0004 東京都港区新橋5-7-10 新橋SNビル3F 東京営業所 所長 岡崎真樹	TEL 03-3578-8670 FAX 03-3578-8516
(株)シーナッツ	予約・販売管理システムT-リーディング	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴ汐留8F システムソリューション本部 営業グループ 田代一義	TEL 03-5404-6702 FAX 03-5404-6706
三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 東京支社 業務部 倉場和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
(株)ウィンター・ハルター・ジャパン	食器洗浄機販売、メンテナンス等	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-6-12 新大阪駅前末広ビル1F 営業部 西日本チーム 末永 充	TEL 06-6886-5537 FAX 06-6886-6658
(有)プラスワン	除菌、消臭用品、レジオネラ菌除去等	〒700-0975 岡山県岡山市北区今8丁目14-28 代表取締役 田島浩太郎	TEL 086-245-3021 FAX 086-245-3071
ラナビイク(株)	照明設備等メンテナンス	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-15-6F 常務取締役 管理本部長 美斎津敏二	TEL 03-5425-4620 FAX 03-5425-4621
ルノン(株)	「空気を洗う壁紙」壁紙 襖紙他インテリア商材の卸販売	〒141-0031 東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル6F 企画本部 部長 丸山誠一	TEL 03-3492-7341 FAX 03-3493-5843

(平成25年1月1日)

安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバー aster 登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。国内の宿泊旅行に限ると、2~3割が高齢者である現在、高齢者の宿泊施設へのニーズが強い事は当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。シルバー aster 登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで約1,000軒の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバー aster 登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。ぜひシルバー aster にご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

2月7日にシルバー aster 登録審査委員会開催!

- ◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。
- ◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号 全国旅館会館4階
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL: <http://www.yadonet.ne.jp/>
全旅連シルバー aster 部会公式サイト(人に優しい宿サイト)URL: <http://yadonet2.jp/>

大口・多頻度割引制度のご案内

使って得する便利な ETC コーポレートカード

大口・多頻度割引制度とは、大口・多頻度利用のお客様を対象とした ETC システムの利用を前提とする高速国道等の通行料金の割引制度です。

なお、旅館業を行う事業者は、東日本高速道路株式会社と契約している全国旅館ホテル事業協同組合の組合員となることで、ETC コーポレートカードが貸与され大口・多頻度割引制度をご利用いただくことができます。

全国旅館ホテル事業協同組合

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-5 全国旅館会館 4階
TEL.03-3263-4428 FAX.03-3263-9789

※全国旅館ホテル事業協同組合の概要及び組合加入申込書(PDFファイル)は「宿ネット(<http://www.yadonet.ne.jp/>)」からもプリントアウトできます。